

クルマ情報 TOPICS

近未来のSUVが世界初公開

9月から来年にかけて、続々デビュー予定

航続610kmの電気自動車

7月15日、日産はクロスオーバーEV、アリアを世界初公開しました。リーフに続くピュアEVの登場に注目が集まっています。ボディサイズ、全長4,595×全幅1,850×全高1,655mmは3ナンバーカテゴリーとなり、2列シートの5人乗りです。リーフで鍛えたEV技術によって、航続距離は最大610kmとし、長距離のレジャーにも使用が可能です。インテリアはラウンジを思い起こさせる上質な造りが特徴となっています。また、声をかけるだけでナビやオーディオなどの操作ができるナチュラルトークアシスタントと安全運転支援技術プロパイロット2.0の装備は、まさに近未来のクルマ。発売は2021



ロゴマークを一新するなど、新生日産を象徴する新型車、アリアのシルエットとデザインはまさに近未来のSUVです。ボディカラーはツートンを含め全9色が用意されています。



ディスプレイはEV専用12.3インチの大画面。ナビはNissanConnectナビゲーションシステムを装備。タッチパネルとナチュラルトークアシスタントにより、シンプルでスッキリとしたインパネ、センターコンソールが印象的です。



後列シートは様々なバリエーションにより、アレンジが可能です。居住性のみならず、ラゲージスペースも十分に確保することができます。

年中頃に予定されており、今から発売が待ち遠しい1台です。

ヤリスのクロスオーバー仕様

今年2月に発売したヤリスを本格クロスオーバー仕様にしたヤリスクロスがトヨタより発表されました。ボディサイズは、全長4,180×全幅1,765×全高1,590mmで、今売れているコンパクトSUV、ライズより一回り大きなサイズとなっています。ドライブトレインはガソリン車とハイブリッド車が設定され、2WDと4WDも選ぶことができます。また、トヨタのSUVとしては初めてアドバンストパークがオプションで設定されました。駐車時のハンドル操作などを支援する、この機能によって難しい駐車も楽に行うことができます。コンパクトカー、ヤリスの長所を受け継ぎ、スタイリッシュな外観が特徴のヤリスクロスは9月初旬に発売が予定されています。



落ち着いた色調とワンランク上の上質感が見事に調和したインテリアも魅力のひとつです(画像はプロトタイプ)。

ヤリスらしさを継承しつつもフロントグリルは頑丈なSUVのイメージが協調されました。強さを感じるフロントフェイスがカッコいい。



コンパクトながら居住性と荷室空間のバランスを重視し、SUVらしいユーティリティ性を両立しています。

東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。